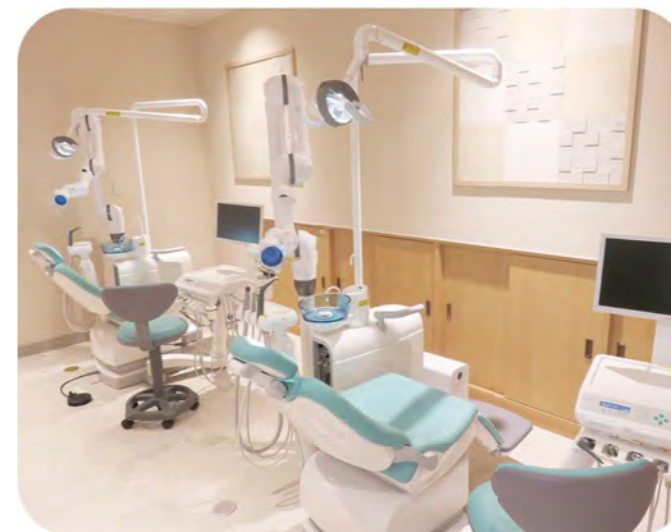


口腔ケアを開設しました

口腔ケアを開設しました

平成29年12月、口腔ケア（歯科）を開設しました。口腔ケアの対象者は、特定の疾患で全身麻酔下の手術を受けられる周術期の患者さん、がんなどの治療で化学療法、放射線療法、緩和ケアを受けられる患者さんです。



なぜ口腔ケアが必要なのか

治療中は身体に様々な副作用が現れますが、お口の中も例外ではありません。たとえば、がん治療の副作用としての口内炎は、通常の口内炎と違い、お口の中の広い範囲に腫れやただれが起こります。痛みが強い場合、食事が摂れなくなり、体力低下につながることもあります。また、お口の中が乾燥し、会話がしにくくなる、食べ物や飲み込みにくくなるといったことも起こります（その他、下表参照）。

このようなトラブルは、治療の延期や中断につながります。しかし、治療に伴うお口のトラブルは、適切な口腔ケアを行うことで予防・軽減できるのです。当院では口腔ケアを通じて、歯科医師と歯科衛生士が患者さんの治療をサポートさせていただきます。

*周術期：入院、麻酔、手術、回復といった患者さんの術中だけでなく前後の期間を含めた一連の期間のこと。

Check!

治療によるお口のトラブルの一例

手術	抗がん剤治療	放射線治療
<ul style="list-style-type: none"> 傷口の感染 肺炎（お口やのど、食道の手術を受ける場合） 	<ul style="list-style-type: none"> 口内炎 味覚の変化 お口の乾き お口の周りのしびれ 歯・歯ぐきの感染 粘膜の感染（カビ・ウィルスなど） 	<ul style="list-style-type: none"> 口内炎 味覚の変化 お口の乾き 虫歯の増加 あごの骨の感染 お口の開きにくい症状

口腔ケアの流れ

お口のトラブルで治療の延期や中断につながらないように適切な口腔ケアを行いましょう！

予約

外来診察の結果、口腔ケアが必要と医師が判断した場合、入院サポートセンターにて予約をとります。診察日は月・水・木の週3日です。

周術期の患者さんの場合 (全4回)

初診時

- 歯、歯肉、粘膜、お口全体のチェック
- 歯と周囲の組織を撮るX線撮影
- 歯に付着する歯石の除去（下の歯）
- ブラッシング指導
- 歯ブラシや補助器具の紹介



術前

- お口の中の経過確認
 - 入院中の歯みがき、義歯の清掃方法を説明
 - 歯石を除去（上の歯）
- ※手術当日に磨き残しがないことを目標に！

術後

- お口の中の経過確認
 - お口の乾燥や痛みを軽減
- ※術後の肺炎や感染を予防するためです。

退院後

- お口の中の経過確認
- 退院後のケア方法の説明

化学療法・放射線治療・緩和ケアを受けられる患者さんの場合

初診時

- 歯、歯肉、粘膜、お口全体のチェック
- お口の乾燥やただれ、痛みを軽減
- ブラッシング指導
- 歯ブラシや補助器具、うがい薬の紹介
- お薬の処方



再診時

- お口の中の経過確認
 - お口の乾燥やただれ、痛みを軽減
- ※回数は状態や症状に応じて変わります。

当院は地域の歯科医院と連携をとっています。

通院後、ご自宅の近くの歯科医院をご紹介しますことも可能です。

歯科衛生士 根岸 初枝

ねぎし・はつえ
診察時にはわかりやすい説明と、明るく笑顔でいることを心がけているそうです。
趣味は和菓子作り。

